

ヒラメの放流について、下記の内容で大阪府を通じて令和6年5月31日に報道提供を行いました。

栽培漁業センターで育った

ヒラメの稚魚10万尾を放流

(公財)大阪府漁業振興基金栽培事業場では、大阪湾の水産資源を増やすため、ヒラメやキジハタなどの稚魚を生産し、自然の海に順応できる大きさまで成長させて放流する「栽培漁業」を推進しています。

このたび、ヒラメの種苗が放流に適したサイズになり、下記により放流することになりましたので、お知らせ致します。

記

1. 放流対象種

ヒラメ種苗 (中間育成した種苗)

2. 放流尾数

計 100,100尾 (全長 8cm)

3. 放流日時、場所、および放流尾数

6月4日(火)	10:00~	泉南市岡田地先	約9,100尾
〃	11:30~	岬町谷川地先	約9,100尾
〃	14:00~	阪南市尾崎地先	約9,100尾
6月5日(水)	10:00~	阪南市西鳥取地先	約9,100尾
〃	11:30~	岬町淡輪地先	約9,100尾
〃	14:00~	泉南市樽井地先	約9,100尾
6月6日(木)	10:00~	阪南市箱作地先	約9,100尾
〃	11:30~	岬町深日地先	約9,100尾
〃	14:00~	岬町小島地先	約9,100尾
6月7日(金)	10:20~	泉佐野市地先	約9,100尾
〃	14:00~	田尻町地先	約9,100尾
		計	約100,100尾

4. 放流後の成長

年末頃には全長約35cm(約400g)に成長し、漁獲対象サイズになります。

5. その他

中間育成については、水産技術センターの技術指導を受けています。

(注) 取材を希望される方は、事前に栽培事業場（TEL072-495-0516）までご連絡ください。

放流場所等の詳細について説明させていただきます。なお、当日の気象状況などにより、日程や放流方法を変更する場合があります。



【放流するヒラメの稚魚】



【ヒラメを放流する様子】